

Table with 3 columns: Category (e.g., Public facilities, Elementariz West, Elementariz East, etc.), Facility Name, Address, and Phone Number. It lists various community centers, music schools, and businesses across the region.



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music
Mマガジン
2022年6月16日号
2022年5月16日発行
(毎月16日発行)
第88号

M MAGAZINE

Motosumiyoshi Music Mate Meet Memo

音友レコード倶楽部

PR動画完成配信中!

暫くの間、開催確認は音友会HPをご覧ください。

好評連載! 「ジャズ雑記帳」 川崎成弘

中野正敏(なかのまさとし): ピアニスト

1937生まれ。山形大学特設音楽科を卒業後、音楽活動を始め地元ジャズオーケストラ「ブルーノート」のアレジャー兼ピアニストとして活躍。その後自己のグループを結成。また安田智彦グループ初期のピアニストなども務めた。在仙プロ MusicianのTOPとしてメディアでも度々紹介される。2012年1月地元「Barry Harris ワークショップ in 仙台」では伴奏者に抜擢され、その確かな理論に基づいた JazzPianoの技法を Barry Harris に絶賛される。個性豊かなミュージシャン、一人ひとりの個性を活かすアレンジに定評がある。

Photo: Yoshiro Yasuda



2022 June

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会 http://otomo.jp

川崎市中原区「音楽のまち・かわさき」推進協議会 公益財団法人 川崎国際交流協会

連載33 そして音楽の旅は続く 出会うその時の1発がベストテイク

15歳でポピュラーソングコンテストにエントリーし、YAMAHAで「歌は世につれ」でデビュー。音楽出版社勤務の後に東芝EMI「この愛に生きて」で再デビュー。EMIを辞めてからスタジオワークと作詞家業。思い起こせばいろいろと面白くてキツイ日々でした。そしてスタジオワークと作詞家をコソコソと15年ほど継続していた2004年のある日、音楽仲間からジャズクラブのセッションに誘われました。セッションとかオープンマイクというのは、ハウスミュージシャンがお店にスタンバイして誰でも参加できる日のことです。え〜無理〜。ジャズの歌なんて知らないし、ジャズクラブには行ったことがないし、お酒の席なんかで唄ったことがないし…。この頃の私は、ジャズクラブって暗いお店で酔っ払いだらけ、気難しい不良の人達の溜まり場っていうイメージだったので、最初はお断りしたのですが、結局お付き合いでついて行くことになりました。ジャズの曲をほとんど知らないで、友人に相談して「Take The "A" Train」、「Cry Me A River」、「Misty」の3曲を覚え、いざ六本木へ!不良の巣窟に入るみたいで怖かったけれど、あれ〜意外と平気かも。皆さん音楽好きな紳士淑

女!軽〜お酒も入って和やかです。「君はJAZZを本当に解ってるの?」なんて難しい事を言われたら尻尾を丸めて逃げようと考えていましたが、ホッとなりました。順番が回ってきて超緊張しながらも「Misty」を唄い、次に「Cry Me A River」を唄い…。あれ? ピアニストさんが演奏しながらギターも弾いてる、でも私は何も分からず修正不可能。急に引込む訳にもいかず、とにかくそのまま最後まで唄いましたが、私はどうしてもその訳を知りたくて休憩中のピアニストさんをお訪ねしました。あの…何がきっかけか、教えていただきたいのですが。そのピアニストさんが今も弾いている岩谷泰行さんです。あの夜は、岩谷さんのピアノトリオと、ライブが終わって遊びに来ていた山本剛さんと、大隅寿男さんとが入り代わり立ち代わり、それぞれセッションでした。「Misty」が山本剛さんの代表曲と知らずに歌っちゃって、今思えばお恥ずかしい限りですね。「Cry Me A River」を間違えて岩谷さんに出会えたことは、本当に幸せな運命でした。そしてこの夜、私はこれまでの音楽生活に新しい驚きと新鮮な感動が加えられました。今までジャンルを超えていろんな体験しましたが、いずれもリ

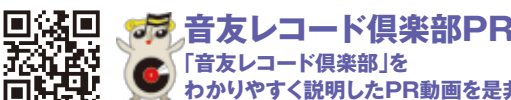
ジャズボーカリスト 星乃けい official website https://www.hoshinokei.com

ハーサルを何度も重ねて最高の一つに向かって研ぎ澄ましていく音楽でした。それしか知らなかったし、練習の結果としてベストテイクを提供するのは音楽に携わる人として当たり前、JAZZは違っていた!出会うその時の1発がベストテイクでした。あの日、私がしたことはマイクを持って譜面も無して、「Misty」をA bでと云っただけ。それだけなのに、あんなに素晴らしい演奏、お互い分かり合える喜びに溢れて「この中にいたい!」と震えました。もうJAZZに首ったけ!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「IN A SENSATIONAL MOOD/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価される

常連の参加者との共同製作です。撮影、編集はギター奏者の永瀬晋が担当。新規参加の前に、ぜひご覧ください。YouTube配信中。



島倉 学ミュージックスクール
驚くほど歌い方が上達する「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える 音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区本月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)

川崎市国際交流センター
英語による国際理解講座(前期)【オンライン講座】
英語ネイティブ講師による講座 (中上級レベル対象)
●日時:6月4日(土)/6月11日(土)/6月18日(土)
●参加費:3,300円
●定員:40名(応募者多数の場合抽選)
●申込方法:HP申込フォーム
●締切:5月23日(月)

川崎市生涯学習プラザ
第113回 ランチタイム・ロビーコンサート
●日時:2022年6月2日(木)
12:00開場 / 12:10開演 / 12:40終演予定
●場所:川崎市生涯学習プラザ ●料金:無料
●出演:Tear Drops / 歌・ピアノ

お問い合わせ
川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp
川崎市中原区本月2-21-32 TEL 090-9398-2889
2022-5-16-900 Printing RK

お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室 総務係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41

音友レコード倶楽部も順調にスタート。
3月のレコードコンサートの開催から4月もコロナ感染のなか順調に開催を初めています。3月にはtvk「猫のひたいほどワイド」、4月はイッツコム「地トニュース」で活動状況を告知していただきました。見直されているレコードの魅力を皆さんと共に十分に楽しめれば幸いです。暫くぶりにレコードを聴いてみませんか。皆さんの好きな楽曲もぜひ持参して皆さんに紹介してください。もちろんCDも構いません。皆さんの参加もお待ちしています。また開催状況のお知らせは「音友会HPで告知」しますので必ずその都度「音友会HPのお知らせ」で確認のうえご参加をお願いします。

6月12(日)の軽音楽とジャズを聴くプログラム

Light Music(軽音楽ファンの集い)●担当:藤田順治
カナダのプラスロックグループ「ライトハウス」特集
1970年大阪万博時に来日した事もあるカナダのプラス・ロックグループ「ライトハウス」。このグループはプラス奏者だけでなくチェロやピアノ奏者もメンバーに含んでいます。彼らが発表した10枚のアルバムの中からピックアップして聴いていきます。

Jazz Date(ジャズファンの集い)●担当:白仁田 一浩
ミルト・ジャクソンのソウルフルな世界
ヴィブラフォンの巨匠、ミルト・ジャクソン。今回はMJQ以外のアルバムにスポットを当てます。クインテット演奏やビッグバンド、ライブ盤などからソウルフルで聴き応えのある曲の数々を楽しんでいきましょう。

【来場の注意点】コロナ感染拡大防止の為、参加の際にはマスク、筆記用具の持参と入場時の手のアルコール消毒と健康カードの記入をお願いします。なおコンサート会場は換気のため窓・ドアなどを開放しながら開催しておりますのでご了承ください。

連載07 杜の都仙台からの音楽だより 「自然から人間が学ぶことはたくさんある」中野正敏。 宗久 真紀

1月から連載させていただき、この音楽だよりも今月で最終回となりました。私自身とても楽しく仙台のDIVA達を紹介させていただきました。原稿を書いていく中で、彼女たちの素晴らしい音楽が改めて感じる事が出来ました。ご縁をいただきましたことに感謝申し上げます。最後は、コンサートの音楽監督を務めていただきました、仙台のJAZZ界の仙人…!ピアニスト中野正敏先生をご紹介します。今年5月で85歳を迎えられました。戦後復興の日本からJAZZと歩んできた人生をお聞きいたしました。小学生の時終戦。「大人がみんな泣いていて何が何なのかわからなかった。そんな時代でも防空壕で音楽を教えたくれた先生がいた。」とその当時の事を話してくださいました。中学生になるとラスバンドが出来、いろいろなところで演奏したそうです。その頃からラジオ放送が始まりアメリカから電波が飛んでくるなんて!と興奮したそうです。アレンジにも興味を持ち始め大学では作曲編曲を学んだ大学生。周りはクラシックの音楽会へ行く中、自分はキャバレーで演奏の日々…。(笑・汗・涙)卒業後JAZZピアニストとして活動を始め、無声映画でチェロを弾いていた「パンマス」や戦争から帰ってきたトランペット奏者などいろいろな先輩がいたと振り返っていました。その当時のお店ではよく火事が起こり、大きな声を出してみんな

で逃げたそうです。楽器が焼けるのは可哀そうだった。と悲しい顔をしていました。全国各地で「キャバレー」と呼ばれるお店がたくさんあり、そこにはビッグバンドが存在し、歌手も何人もいるような時代でした。毎晩、生の音楽が鳴り響いていたそうです。今の時代しか知らない私はとても羨ましく思います。昼はアパートの屋上で着ぐるみを着ての演奏、そのままテレビ局での生放送、そしてキャバレーをまわるという生活。なので、疲れて演奏中に寝てしまうこともしばしば…。奥様もJAZZ歌手でNHKラジオの生収録の音源がオープンリールに残っておりまして、「ゴットファザー愛のテーマ」を中野先生率いるビッグバンドをバックに圧倒的な歌唱力で歌い上げる奥様の歌声が奥様のお葬式で流れ、涙が止まらなかったのを覚えています。私も、もっとたくさんことを教わりたかった。あらゆる音楽を手掛けたきた中野先生。膨大な数の譜面を書いて来られました。全て手書きの譜面です。音符一つ一つから譜面に書き切れないものまで伝わってきます。目が追っていくところに必要な情報が入って



右側 中野正敏FIVE SAXOPHONES
左側 中野正敏フレッシュメンズ

音友レコード倶楽部Report Light Music & Jazz Date 2022年4月コンサートの報告

三人三様のヴォーカルグループ「スリー・ドッグ・ナイト」 藤田順治



▲①The Best of Three Dog Night / Three Dog Night

今回、軽音楽で聴いてもらったのは昨年Mマガジン4月号の特別寄稿で取り上げたダニー・ハットン、チャック・ネグロン、コリー・ウェルズという3人のヴォーカルを擁した独特のサウンドを持つ「スリー・ドッグ・ナイト」というバンド。1970年代に次々とヒットを生み出していたロックバンド御三家の1つ(他はシカゴ、CCR(クリーデンス・クリアウォーター・リバイバル)でビルボードのトップ40に21曲がチャート・インし、その内3曲が1位を獲得したバンドである。このバンドとの出会いは当時聴いていたラジオ放送からで次々とヒット曲を生み出していった為、スリー・ドッグ・ナイトの曲がかからないという日は

なかった様な気がする。このグループの特徴は、ほとんどの曲がオリジナル曲ではなく他のシンガーソングライターのカバー曲をスリー・ドッグ・ナイト風にアレンジしている事である。最初は私が一番良く聴いていた1971年発表の通算6作目にあたる「Harmony」というアルバムからスタートし「オールド・ファッションド・ラブ・ソング」(全米4位)等3曲を聴いてもらった。その後、このアルバム以外からのヒット曲をベストアルバム「The Best Of Three Dog Night」(写真①)よりピックアップして聴いてもらった。大ヒットし、つい最近では伊藤忠商事のCMでも使われた「喜びの世界(ジョイ・トゥ・ザ・ワールド)」もその一つである。また、スリー・



▲③Tapestry/Carole King

春に聴くラテンアレンジのヴォーカルあれこれ 大場アキヒロ

4月のレコード倶楽部は生憎の雨空でしたが、新規参加者も迎えて十分なコロナ対策を行いつつ開催されました。今回のJazz Dateは1950~60年代にリリースされた、ラテンアレンジのヴォーカルアルバムを筆者のDJでお届けしました。当時のポピュラーシンガー、ジャズシンガーは1枚はラテンアレンジのアルバムを作りたくなるようです。ブロードウェイ・ミュージカルからこの曲をラテンアレンジに味付けしたベギー・リーの「Latin ala Lee!」(写真①)より、「ティール・ゼア・ウォズ・ユー」はポール・マッカートニーが気に入り、後にビートルズのレパートリーに加えるきっかけとなりました。ローズマリー・クルーニーとマンボの王様ペレス・ブラード楽団との共演盤「A Touch Of

Tabasco」(写真②)より「コラソン・デ・メロン」。ブラード楽団のパンチの効いた演奏が光ります。日本では1960年、「メロンの気持」のタイトルで森山加代子が唄ってヒットしました。ナット・キング・コールからはブラジル公演中に現地レコーディングしたとされる、全曲スペイン語で唄った「amis amigos」(写真③)より「パーフィディア」。後に英語の歌詞が付きポピュラーソングになりました。1960年、マンチャーズのインスト版もヒットしました。他には、ドリス・デュー・デュー・マーティンなど全9曲を聴いていただきました。後半の持ち寄りタイムでは、バラエティに富んだアルバムの紹介がありました。1997年、ミシェル・ペトルチアーニがアンソニー・ジャクソン(b)、



▲①Latin ala Lee! / Peggy Lee



▲②A Touch of Tabasco / Rosemary Clooney, Perez Prado



▲③Mis Amigos / Nat King Cole



▲④Trio in Tokyo / Michel Petrucciani



▲⑤John Coltrane & Johnny Hartman / John Coltrane, Johnny Hartman

連載-Take 12 PAミキサーも演奏者!演奏バランスは難しい! 塚田 親一

演奏者自身の音楽表現は、音量調整卓のPAミキサー、音質調整卓の録音ミキサーによって大きく変わる。ミキサーは譜面が読めなくても、バンドのドラマーが変わると同時に演奏者の音楽表現を熟知しないと出来ないと思う。それらと同時に楽器本来の音、演奏者が表現したい音、また纏まった演奏の音、ホールサウンドなど考えて調整が出来ないと卓の前には座れない。同時に音像定位もどうするか勿論の

事である。そして「音友会の音の調整は音楽を聴きながらPAと録音を考えたい」と挑戦しているが、それよりも「演奏者の奏でる楽器本来の生音を聴いて欲しい」ので「PAは補助」として演奏会を開催している。筆者はステージなどのライブ演奏を「その場の雰囲気も含めて一気に記録する」一発録りが大好きである。しかもオープンデッキ(音友会hptake8参照)で2tr/38cmのアナログ録音である。皆さんも一



▲筆者所有の可変型ミキサー STUDER/089

回は生録したオープンデッキの音を聴いてほしいです。最近は各演奏者がブースで録るマルチ録音が主です。



▲筆者所有の可変型ミキサー STUDER/089

連載02 ジャズ雑記帳 ラジオからジャズ番組 ~ テープレコーダー時代 ~ 国産LPレコード生産発売 川崎成弘

米駐留軍のラジオ放送から流れるアメリカン・ポピュラー・ソング番組の影響で、ジャズが戦後の日本に入ってきたスピードは早く、NHKもWVTR(1945年9月開局、後にFEN、現・AFNに改称)を追うように「ニュー・パシフィック・ア

ワー」という番組で、松本伸(ts)のニュー・パシフィック・オーケストラがオープニング・テーマ「ドリーム」が登場。メンバーには後にバンド・リーダーになった渡辺弘基(ts, accor)、谷口又士(tb)、飯山茂雄(ds)、ジミー・原田(ds)、

森山久(tp)など、戦前派の錚々たるジャズメンが名を連ねていた。ここで、第二次世界大戦終結後の出来事を、手元の資料から拾い書きしてみよう。

- 1944 ☆連合軍はドイツの「ラジオ・ルクセンブルグ」を奪取し、そこから高性能のテープレコーダーを発売。
- 1945 ☆レス・ブラウン楽団専属歌手のドリス・デイが唄った「センチメンタル・ジャーニー」がミリオン・セラーに!
- 1946 ☆ドイツよりアメリカにアナログ・テープレコーダーが渡りアンベックス社がテープレコーダー第一号機を完成。マグネコダー社、RCA社、フェアチャイルド社が次々と開発に成功。
☆NHK第1放送「ラジオ英語会話講座」平川唯一アナウンサーが講師で1946・2・1~1951・2・9の5年間続いた。「証城寺の狸囃子」のメロディに平川唯一氏が「カムカム・エヴリパデイ」を作詞。
- 1947 ☆ドイツ軍が使用していたテープを分析した結果、3M社の「スコッチ」の商標で秒速7.5インチ、15,000サイクルを録音できる紙テープ及びプラスチックテープを作ることに成功。
☆「ホット・クラブ・オブ・ジャパン」発足(ジャズ研究団体で、初代会長は野川香文 1904年生まれ 1957年没 ジャズ評論の草分け)
- 1948 ☆米コロムビア社は33 1/3回転のLPレコードを発表(但し、テープレコーディングではない)
- 1949 ☆アンベックス社が実用的なテープレコーダーを開発し、ラジオ放送に使用。この年レコーディング・スタジオにもテープレコーダーが入り、1年経たぬうちにアセテート・ディスクへのダイレクト・カット・システムはテープレコーディングの時代に。
☆RCAビクター社より45回転7インチ(17センチ)EPLレコード(ドーナツ盤)を発表。
- 1950 ☆東京通信工業(現・ソニー)が日本初の民生用オープンリール・テープレコーダー(紙テープ使用)の試作機を完成。第1号機を発売。
- 1951 ☆日本コロムビア社は日本初のLPレコードを輸入発売。(10インチ盤が4ドル前後で、レートは360円時代)
- 1953 ☆国産LPレコード生産・発売開始。 ☆NHKテレビ本放送開始。

日本のラジオ音楽番組では日本ビクター提供の「S盤アワー(写真①)」オープニング・テーマに使用されたレコード(写真②)。

日本文化放送協会(現・文化放送) 1952年4月の開局より1969年11月まで放送されたそうて、ディスクジョッキーを担当した帆足まり子はアナウンサーではなく日本ビクターの社員で、日本ビクター発売の新譜SPレコードを軽快な語り口で紹介する声に魅了された軽音楽ファンは多かったと思います。続いて日本コロムビアの「S盤アワー」、日

本グラムフォンの「P盤アワー」等も電波に乗って放送された。
私は相変わらずWVTRから改称したFEN、現AFN(American Forces Network)でジャズ番組を楽しんでいた。「ワンナイト・スタンド」が毎週月曜日の夜8:30からスタン・ケントンが担当する番組はウエスト・コースト・ジャズ店頭期のライヴ録音を幅広く紹介。これは充実した番組でした。NHKラジオ第二放送でもいよいよ「リズム・アワー」と言うジャズ番組が放送されるようになり、ジャズ評論界の野川香文、油井正一、牧

芳雄、久保二郎諸氏が担当され、丁寧な解説は大変勉強になり、特にトラディショナル・ジャズに造詣の深い河野隆次氏の番組は伝統的なジャズのメインストリームを知る切っ掛けになりました。番組のオープニング曲はコレット奏者ピックス・バイダーベック1927年吹込みの名演奏「アット・ザ・ジャズ・バンド・ホール」(写真③)28才の若さでこの世を去った偉大なコレット奏者ピックス・バイダーベックの演奏をYouTubeでも試聴できますので是非お聴きになってください。



▲①S盤は日本ビクターの10インチ(25センチ)78回転洋楽に付与されたSPレコードのイニシャル番号



▲②日本ビクター「S盤アワー」オープニング曲 エル・マンボ / ベレス・ブラード楽団



▲③ピックス・バイダーベック日本コロムビア10インチLP

※トラディショナル・ジャズ(Traditional Jazz)は、スイング時代以前のジャズ・スタイルの総称で現在は一般的にディキシーランド・ジャズと言う様です。

【横書きのある暮らしはお休みし、8月号から再開します】

連載69 「くじら座」日記 肋骨レコード 牧野くみ

初夏の候、いかがお過ごしでしょうか。水産系シンガーソングライターの牧野くみです。いつもはこちらのコーナーに好きな楽曲の分析や聴感などを綴っておりますが、今回は儲かながら自分の作品を紹介させていただきます。この4月に「サバノート」と「海峡」2曲入りのCDを自主制作リリース致しました(サブスクで聴けたり動画投稿サイトのBGMとしてもご自由にお使い頂けますのでぜひ聴いてみてください)。ジャケットデザインは我がが神山昇さんです。その節はありがとうございます。
旧ソ連ではかつて音楽が検閲下にありました。さらに物資不足も相まって、当時はレントゲンフィルムに音楽を録音してひっそり聴いていたそうです。「肋骨レコード」と呼ばれ、現在では一部コレクターの間で話題になっているよう

です。作った者は処罰されるという状況で、どのような想いで彼らは音楽を焼き聴いていたのでしょうか。「海峡」という曲は、かつてそんなことがあったけれど繰り返したくないという想いで作りしましたがどうでしょう。過去のことではなくこの令和の時代に戦争が起きている。
無力さにやるせなくなりながらも、先日ライブで「サバノート」(鯖がテーマのボソノバです)を演奏したところ、「今まで釣りでサバを捨てていたけど、今度から捨てるのをやめるよ」とお客様に声をかけて頂きました。小さなアクションも無駄ではないのかもしれません。身近な人

や自分たちの大切な環境を守るために、少しでもできることを一人ひとりが考える時なのかもしれません。

